

※ 下線部分は前回からの変更箇所

新型コロナウイルス感染症にかかる日赤千葉県支部の対応等について

(第2報 令和2年5月31日現在)

日本赤十字社千葉県支部

新型コロナウイルス感染症対策本部

1 千葉県内の感染者発生状況 (令和2年6月7日現在 千葉県調べ)

患者数 911名 (患者804名、無症状病原体保有者107名、うち45名死亡)

○参考 国内の感染者発生状況 (厚生労働省ホームページから)

- ・国内感染事例 (※1) 16,679名 (死者892名)
 - ・空港検疫 (※1) 190名
 - ・チャーター便帰国者 (※1) 15名
 - ・クルーズ船乗員乗客 (※2) 712名 (死者13名)
- 計17,596名 (死者905名)

※1 6月1日 0:00現在 / ※2 5月31日 24:00現在

2 日本赤十字社千葉県支部の主な対応

(1) 成田ゲートウェイホテルへの救護班の派遣 (成田市)

千葉県からの依頼に基づき、成田ゲートウェイホテルにて、療養している新型コロナウイルス患者 (軽症者) への対応のため、成田赤十字病院の救護班等派遣した。

4/19 住民への事前説明および感染者受入れのための準備

4/20~4/24 救護班派遣 新型コロナウイルス患者への医療対応

病院名	活動場所	活動期間	要員内訳					新規入館者数
			医師	看護師長	看護師	主事・事務	計	
成田赤十字病院	成田ゲートウェイホテル (成田市)	4/19 (日)	1	1	1	1	4	1
		4/20 (月)		1			1	0
		4/21 (火)	1	1	1	1	4	3
		4/22 (水)	1	1	1	1	4	5
		4/23 (木)	1	1	1	1	4	2
		4/24 (金)	1	1	1	1	4	1
合計			5	6	5	5	21	12

※ 下線部分は前回からの変更箇所

(2) 寄付物品

寄付品目	マスク	12,150 枚
	ペーパータオル	800 個
	1 Day キット	35 個

寄付月	物品名	数量	寄付元	寄付先
2月	マスク	1,000 枚	個人/1件	千葉県支部
4月	マスク	9,500 枚	法人/3件	成田赤十字病院 千葉県支部
4月	ペーパータオル	800 個	法人/1件	成田赤十字病院
5月	1 Day キット	35 個	個人/1件	成田赤十字病院
5月	マスク	1,650 枚	法人/2件 個人/1件	成田赤十字病院 千葉県支部

(3) 青少年赤十字・赤十字ボランティアによる活動

赤十字奉仕団は、感染防止のため従前から続けていた奉仕団活動を自粛する中、人との接触を避けたうえでできる、マスクの作成等の新型コロナウイルス感染症に対する活動を行った。

実施月	奉仕団名	活動内容
4月	勝浦市赤十字奉仕団	市内保育所・こども園児・小中学生に対し、マスク約2,200枚作成・寄贈
	君津市赤十字奉仕団	高齢者サロン利用者に対し、電話による近況確認
5月	君津市赤十字奉仕団	市内小学校新1年生に対し、マスク約750枚を作成・寄贈
	病院ボランティア会	成田赤十字病院に対し、アイシールド約1,600個、アームカバー約3,000枚を作成・寄贈

※地域における奉仕団活動については、実績調査中

3 成田赤十字病院における対応

成田赤十字病院は、全国に 4 病院しかない特定感染症指定医療機関として、その役割を果たすべく、行政等からの依頼により、患者さんの受け入れを行い対応しています。

また、本来の役割である地域に根ざした医療、そして高度医療の提供は、今までと変わらない体制で診療を行っています。

この医療提供体制を維持し、患者様の健康と命を守るため、職員一同、最善の努力を尽くしております。

(1) 医療チームの派遣

ア 税務大学校（埼玉県和光市）

埼玉県及び厚生労働省からの依頼に基づき、税務大学校に滞在している武漢市からのチャーター便による帰国者及びクルーズ船からの下船者（PCR 陰性）の経過観察を支援するため、成田赤十字病院から医療チームを派遣した。

病院名	活動場所	活動期間	要員内訳				計
			医師	看護師長	薬剤師	主事事務	
成田赤十字病院	税務大学校 (埼玉県和光市)	2/22(土)～ 2/24(月)	1	1	1	1	4

イ 感染症専門医師および感染管理認定看護師の派遣

千葉県東庄町の障害者福祉施設で3月に発生した集団感染（クラスター）では成田赤十字病院から感染症専門医師と感染管理認定看護師を派遣し、施設内での感染拡大防止策の指導にあたった。

また、4/23～4/24 に成田ゲートウェイホテルに感染症専門医師を派遣し、当該ホテルに収容された新型コロナウイルス患者（軽症者）に対しPCR検査を実施した。

4 千葉県赤十字血液センターにおける対応

献血の受け入れに際して、献血者に会場（献血ルーム）入場時の体温測定（検温）・手指消毒・マスク着用のご協力をいただくとともに、問診時の衝立の設置及び会場の消毒等により、最大限の感染拡大防止措置を行った。

また、献血バスや献血ルームへの案内人数の制限や来場（所）の予約を推進し、特定の時間の混雑を防ぎつつ、外出自粛や在宅勤務による献血者の減少に対応し、輸血用血液の確保に努めた。